

有望 ASEAN 企業 13 社とのビジネスマッチングのご紹介について 一般調査報告書

愛知県バンコク産業情報センターはタイ・バンコクの日本貿易振興機構(ジェトロ)バンコク事務所に所在し、ASEAN 及びインドを対象に、愛知県に拠点のある企業様の現地でのビジネス展開に対する様々な支援を実施しています。タイに駐在していることから、主にタイで実施する事業が多くなっていますが、タイ以外の対象国においても、いくつかの取組を行っています。本レポートでは、そのうちの一つである有望 ASEAN 企業 13 社とのビジネスマッチング事業についてご紹介したいと思います。

なお、こちらのビジネスマッチング事業は 2026 年 2 月末まで実施中のため、本レポートをご覧になった上でもしご関心があるということであれば、是非愛知県バンコク産業情報センターまでお問合せください。

1 ビジネスマッチング事業の概要

(1) 事業の目的

当センターでは、これまでタイ企業の愛知県への投資・進出を促進するために、愛知県に拠点をもち企業(以下、「愛知県企業」という。)とタイ企業とのビジネスマッチング事業を約 10 年間実施してきました。しかし、近年はこうした対日投資的な意義が相対的に薄まっていると考えられます。というのも、特にタイの日系サプライヤにおいて顕著ですが、中国企業の進出等の影響によって主要な取引先であった日系企業からの引き合いが減少してきており、その結果、現地で日系企業以外とのビジネスにもこれまで以上に目を向ける必要が出てきているためです。ローカル企業と新規取引が生まれる可能性のあるビジネスマッチングは、こうした日系企業側の現地でのビジネス拡大に対しても有効であるため、日系企業側からの需要も増えてきています。

さらにこのようなローカル企業とのビジネス機会を望む声は、愛知県企業の進出数が多いインドネシアやベトナムでも増えています。そのため、今年度はタイ・インドネシア・ベトナムにおいて、各国のローカル企業と愛知県企業(の各国拠点又は愛知県拠点)とのビジネスマッチングを通じ、各国ローカル企業の愛知県への投資・進出を促進するとともに、愛知県企業の各国でのビジネス拡大を支援することを目的としています。

(2) ビジネスマッチング候補となる有望な ASEAN 企業の選定方法

今年度はタイの日系コンサルタント会社にご協力いただき、ASEAN において愛知県企業の進出数が多い、タイ・インドネシア・ベトナムの 3 か国において、日系企業との連携・協業等を希望する有望なローカル企業を 40 社程度リストアップしました。なお、対象とする事業分野は「あいち経済労働ビジョン 2021-2025」で振興する次世代産業分野に加え、在 ASEAN 日系企業に特に関心が高い分野をアンケート調査し設定しました※。

※次世代自動車、新たなモビリティサービス分野、航空宇宙産業分野、ロボット産業分野、革新的技術の社会実装分野、スタートアップ分野、カーボンニュートラル・新エネルギー、バッテリー関連分野、AI・IoT・DX、通信技術、材料・新素材

その後、電話等により簡単なサウンディングを行い、特に日系企業への関心が高く、ビジネスマッチングの希望がある13社まで絞り込み、個別インタビューを実施しました。企業によっては非常に具体的なニーズを持っており、ニーズが合えばすぐにでも日本へ行って直接会いたいとおっしゃる企業がいたのも印象的でした。日系企業のプレゼンスはひと昔前と比較すると低下していると言われていますが、インタビューをしている中ではまだまだ日系企業に対する信頼感が高く、好意的なイメージを持っているローカル企業が多いと感じました。

(3) ビジネスマッチングの実施方法

個別インタビューを経て、当方にて各社の概要や愛知県企業に対するビジネスマッチングニーズをまとめたシートを作成しました。こちらを愛知県企業側に展開し、内容を見た愛知県企業からのお申込みをローカル企業側へご紹介、そこで双方のニーズが合致すれば、個別のビジネスマッチング(オンライン面談)を実施することとなります。今回インタビューを実施した13社のビジネスニーズシートについては、愛知県経済産業局産業部産業立地通商課のウェブサイト(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ricchitsusho/gaikoku-center.html>)にて公表しているとともに、次章にてご紹介しますので、もしこの中にご興味のある企業がいましたら、愛知県バンコク産業情報センター(aichi-bkk@jetro.go.jp)までご連絡ください。

2 有望 ASEAN 企業 13 社のご紹介

(1) AAPICO Hitech (タイ)

昨年度も本事業にご参加いただき、愛知県へもお越しいただいたタイの大手自動車部品メーカーの1つです。主に金属成形部品、鍛造・鋳造部品の製造を行っており、日系メーカーとも数多くの取引実績を誇ります。生産技術の向上や自動化等に関心が高いとともに、近年で新規事業としてデジタルマップ関連分野にも事業展開しているため、幅広い分野で更なる日系企業との連携・協業を希望しています。

AAPICO Hitech PCL

会社概要

設立年	1996年
代表者	Mr. Yeap Swee Chuan
資本金	3億5,484万2,228 THB
従業員数	5,900 名
所在地	本社：タイ 拠点：タイ、ポルトガル、中国、マレーシア
URL	https://www.aapico.com/

事業内容

以下の3つの中核事業を行うタイ大手自動車部品メーカー。

1. 自動車部品のOEM製造
2. 自動車ディーラーおよびサービスセンター
3. モノのインターネット (IoT) コネクティビティおよびモビリティ事業

特徴・強み

- ・ 日本と中国の強力なパートナーネットワークを基盤として、多くの合併事業を展開し、いすゞ、トヨタ、日産、三菱、マツダなどのOEMメーカーと取引実績がある。
- ・ 同族経営企業であるため、迅速な意思決定、財務の安定性を強みとしている。

事業概要

製品・サービスの概要

- ・ 金属成形部品、鍛造・機械加工部品、鋳造部品、プラスチック部品の製造に加え、大手自動車組立メーカー向けに金型・治具の設計・製造も行つ。
- ・ タイとマレーシアで自動車ディーラーを展開する。
(タイ：三菱自動車、MG マレーシア：ホンダ、プロトン)
- ・ OEM向けにデジタルマップを提供するとともに、クラウド、データ分析、機械学習、AIを活用したデジタルおよびIoTソリューションを提供することで、ビジネスのデジタル化を促進し、顧客への価値創造に取り組む。

ビジネスマッチングニーズ

- ・ **スマートファクトリー向けロボット設備、金型・治具、プレス加工を専門とする企業**
AAPICOの鍛造・鋳造におけるグローバル展開を支える企業と連携したいと考えている。
- ・ **プラスチック射出成形分野におけるパートナー**
当社とともに技術の向上と事業拡大を目指すパートナーとのマッチングを希望する。
- ・ **高度な溶接技術を持つパートナー**
当社の溶接工程に貢献できる企業とのマッチングを希望する。
- ・ **アルミダイカスト事業に注力している企業**
- ・ **CFRP削減のための設備導入を提案できるグリーンエネルギー分野の企業**
- ・ **デジタルマップ技術サポートを提供するIoT企業**
- ・ **自動化・スマートファクトリー分野に強みをもつ企業**
- ・ **当社での研修に関心のある高等教育機関**

図1 AAPICO Hitech のビジネスニーズシート

(2) AEI Solution (タイ)

タイで自動倉庫システムやAGVなどを手掛けるSIer。タイ国内に本拠を置くスタートアップであるため、迅速なアフターサービスに定評があります。日本進出の際のパートナー候補企業とのマッチングを希望しています。

AEI Solution




事業概要

会社概要	
設立年	2020年
代表者	Mr. Suttiphong Danphong
資本金	500万 THB
従業員数	27名 (内、エンジニア18名)
所在地	タイ、バンコク
URL	https://aei-solution.com/
事業内容	- ASRSを含む倉庫自動化システムの設計、設置、保守を行うスタートアップ。 15年以上の専門知識を持つタイ人エンジニアによる、設計、設置、試運転、保守、サポートまで、エンド・ツー・エンドのサービスを提供している。
特徴・強み	- ダイフクやHIKといった世界トップクラスのブランドと提携し、高度な自動在庫管理およびマテリアルハンドリングソリューションを提供している。 - 顧客の資産と課題をともに理解することから始め、最適なソリューションを提供する。 - タイ国内において迅速かつ直接的なアフターサービスを提供しており、これは多くの外資系システムインテグレーターにはない強みといえる。

製品・サービスの概要

- 当社の自動倉庫システム (ASRS) は、主に保管ラック (ASRSラック) で構成されている。
- AGVにより、人の介入なしに商品や設備を正確に移動。
- 商品の入庫、保管、配送を含む倉庫業務全般を管理するための倉庫管理システム (WMS) を自社開発。
- クレーン、ラック、コンベア、パレット、4ウェイシャトルシステム、アフターサービスに至るまで一貫したソリューションを提供。





ASRS
AGV
4ウェイシャトル

ビジネスマッチングニーズ

- 当社事業分野に関連する技術を有する企業**
当社の事業分野である倉庫自動化関連分野において、当社とともにイノベーションを起こせる可能性のある有望な技術をもつ日系企業や大学・研究機関との共同開発を希望する。
- 日本で当社のサービス導入に関心のある企業**
チャンスがあれば日本市場進出も考えているため、その際にパートナーとなって頂ける日系企業とのマッチングを希望する。

図2 AEI Solution のビジネスニーズシート

(3) Cleantech & Beyond (タイ)

低コスト・電源不要で設備等の温度を監視できる「デジタル温度インジケーター」を開発したタイのスタートアップで、当社の製品を導入したい企業や日本進出の際のパートナー候補企業とのマッチングを希望しています。

Cleantech & Beyond

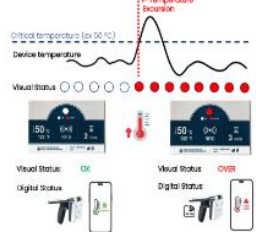



事業概要

会社概要	
設立年	2023年
代表者	Mr. Pichaya Pattanasattayavong
資本金	1,375 万THB
従業員数	6名
所在地	タイ、ラヨーン県
URL	https://www.cleantech-beyond.com/
事業内容	- ディープテックスタートアップであり、半導体及び機能性材料の研究開発を通じて、先進的な環境センシング製品を開発している。 - 同社は、RFID、NFC、QRコードを統合した無線温度センサー技術を開発しており、革新的なデジタル温度表示装置 (DTI) の実現を目指す。
特徴・強み	当社が提供する世界初のDTIは、電源不要で、個々の部品の温度を低コストで効率的に監視することができ、目に見えない温度リスクを可視化することができる。

製品・サービスの概要

- デジタル温度表示装置 (DTI) : 温度管理用スマートラベルは、RFID、NFC、QRコードなどの技術を活用することで、ワイヤレスでの温度監視とデータの自動記録を低コストで可能にする。



Easy setup
Easy to install and seamlessly integrates with RFID/NFC/QR

Multiple readings
Reduce temperature reading time, up to hundreds tags per RFID scan

Cost-efficiency
Economical temperature tracking for individual components

Battery-free
Sensing temperature without the need for power sources

ビジネスマッチングニーズ

- 機器の温度に関する予防保全と安全対策を重視する企業**
モーター、ポンプ、電気設備など温度管理が重要な機器を監視するため、当社のDTIをご利用いただける企業。当社のDTIは、低コスト・無電源で機器のダウンタイムを削減し、安全基準を向上させることが可能。
- 当社のDTIを日本で展開していただける商社**
当社は日系商社と業務提携を結び、愛知県地域におけるパートナーシップを強化するとともに、新たなビジネスチャンスの開拓にも取り組んでいきたいと考えている。

図3 Cleantech & Beyond のビジネスニーズシート

Copyright © 2025, Aichi Prefecture.
All rights reserved.

(4) D.T.C. Enterprise (タイ)

タイにおける GPS トラッキング製品・サービスのパイオニア的企業です。自社製品・サービスの拡販のほか、GPS 技術に関して当社との共同開発に関心がある日系企業とのマッチングを希望しています。

D.T.C. Enterprise

事業概要

会社概要	
設立年	1996年
代表者	Mr. Thotsapol Kunapermsiri
資本金	6億5,700万 THB
従業員数	400 名
所在地	タイ、バンコク
URL	https://dtc.co.th/
事業内容	・タイでGPSトラッキング製品・サービスを提供する業界大手。 ・交通システムやデジタル地図システム管理などのIoTソリューションを拡充し、民間企業や官公庁など幅広く提供している。
特徴・強み	・日系の矢崎エナジーシステム社と提携しており、日系企業との取引に非常に親和性がある。 ・同社は、タイでNo.1のGPSトラッキングシステムプロバイダーであり、12,000社以上の企業と取引実績がある。物流の専門知識を持つサポートチームを擁し様々なニーズにオンデマンドに対応可能。 ・同社はタイ全土に15の拠点を構え、販売からアフターサービスまで、バリューチェーン全体を網羅するワンストップサービスを提供している。

製品・サービスの概要

〇物流・GPSに関するあらゆるサービスを網羅的に提供

- ・GPSトラッキングシステム・モバイルデジタルビデオレコーダー
- ・ソフトウェア・アプリケーション：輸送管理システム、車両追跡システム、フリートメンテナンス、出発前アプリケーション、タイデジタルマップ
- ・A・IoT：スマートセキュリティ（スマート街灯による公共の安全向上）、スマート水管理
- ・安全運転トレーニングプログラムの提供

ビジネスマッチングニーズ

- ・**タイ及び日本での日系顧客**
特に物流、OEM製造、モビリティソリューション開発に携わる企業に対して、当社のGPS及びフリートマネジメントシステムの拡販を行いたい。
- ・**輸送安全管理に関する当社の研修プログラムに関心のある日系企業**
タイにおいて正式に認可されている当社のフリートオペレーター向けトレーニングプログラムの受講を希望する企業を探している。
- ・**共同開発または技術提携**
新たな研究開発の機会を探しており、特に、AIやデジタルマップ、GPS技術に関する製品開発に協力頂けるパートナーを募集している。

図 4 D.T.C Enterprise のビジネスニーズシート

(5) Dynamic Intelligence Asia (タイ)

製造業と親和性が高いノーコード AI プラットフォーム「DUSCAP」を開発するスタートアップで、日本進出の際のパートナー候補企業とのマッチングを希望しています。ヒアリングの際、約 20 分で生産ラインの動画から不良品を弾くプログラムがノーコードで作成できたことは驚きでした。一度ニーズシートの QR コードから紹介動画をご覧ください。

Dynamic Intelligence Asia (DIA)

事業概要

会社概要	
設立年	2019年
代表者	Mr. Andy (Anuwat) Chamnan
資本金	125 万THB
従業員数	11 名 (内エンジニア 7 名)
所在地	タイ、バンコク
URL	https://www.dia.co.th/
事業内容	・コンピューター・ビジョン、AIプロセス・オートメーション、スマート産業ソリューション向けの機械制御を専門とするAIソフトウェアスタートアップ。 ・高度なテクノロジーを手頃な価格で利用できるようにし、製造、ヘルスケア、小売などの業界の効率性とパフォーマンス向上を支援することがミッション。
特徴・強み	・当社のノーコードプラットフォームである「DUSCAP」を導入することで、生産ラインの自動化、早期欠陥検出、廃棄物の削減、職場の安全性向上を通じて効率性を向上させることが可能。 ・ノーコード・短時間のAIソリューションにより、時間とコストを節約しながら既存設備と連携し、リアルタイム監視とプロセス最適化を実現可能。 ・Google、NVIDIA、Microsoftといった大手企業からのバックアップも受けている。

製品・サービスの概要

- ・**製造業向けAI (DUSCAP) :**
ノンテクニカルユーザー向けのノーコードAIアプリケーションプラットフォーム。
 - コンピュータービジョンベースのプロセス自動化と機械制御：効率向上、無駄と時間の削減、コスト削減を実現
 - ケーススタディと実際の使用の様子
<https://www.dia.co.th/case-study/>
<https://youtu.be/29M1JMRBT8A>
- ・**様々な業界向けAI (スマートシリーズAIアシスタント) :**
 - コンピュータービジョンベースのプロセス自動化とオペレーションコパイロット

AIプラットフォーム
「DUSCAP」紹介動画

こちらからサービスの
デモンストレーション
動画をご視聴
頂けます。

ビジネスマッチングニーズ

- ・**日本市場参入に向けた日系パートナー企業**
日系企業は現地市場とその固有のニーズについて深い知識を有しているため、当社が日本市場へ参入する際に協力いただける日系企業とのマッチングを希望する。
- ・**日本の投資家**
当社が日本に展開するために投資していただける日系投資家を募集している。理想的には、資金力と現地市場に関する知見の両方を提供するパートナーを望ましい。
- ・**日本において当社のサービス導入に関心のある企業**

図 5 Dynamic Intelligence Asia のビジネスニーズシート Copyright © 2025, Aichi Prefecture. All rights reserved.

(6) Innovation Group (タイ)

昨年度も本事業にご参加いただき、愛知県へもお越しいただいたタイの中堅自動車部品メーカーです。タイにおいてゴム・樹脂製造や農業、循環経済分野の事業に取り組んでいる企業との連携を希望しています。

Innovation Group (Thailand)

会社概要

設立年	1984年
代表者	Mr. Panitan Junhasavasdikul
資本金	18.5億THB (グループ全体)
従業員数	1,500名
所在地	タイ、バンコク都
URL	http://www.elastomer-polymer.com/
事業内容	- グループ企業全体で、自動車関連ゴム・プラスチック製品の開発・製造を行う。 - 複数のグループ企業により、幅広い事業分野をカバーしている。 - 自動車関連部品のほか、耐火服などの安全製品の製造も行っている。
特徴・強み	- 上流の研究開発から下流完成品までをカバーし、ポリマーや化学製品製造に関する一貫通貫のソリューションを提供可能。 - 自社のエンジニアチームは安川電機システムの認証を受けているなど、技術開発の余地や潜在ニーズなどを技術側から深く考察できる技術力をもつ。 - 製品製造の際のCO2を約70%まで削減できるなど、環境面にも強みをもつ。

製品・サービスの概要

主要グループ企業の事業内容・製品は以下のとおり。

- PI Industry : ゴムコンパウンド
ウェザーストリップ、グロメット、Oリング など
- Thai Nihon Seal : ゴム製品の製造
Oリング、ダストカバー、シフトブーツ、インテークマニホールド、ガスケット、シリンダヘッドカバー など
- Innovation Polymix : 樹脂コンパウンド
各種自動車関連プラスチックコンパウンド製品



ビジネスマッチングニーズ

- ・製造工程でのCO2削減を達成したい企業
CO2排出量や環境負荷を低減するゴム、プラスチック材料をもつため、それらに関心のある企業との連携を希望する。
- ・グリーン・循環型経済分野の取組をタイで推進したい企業
リサイクル事業、廃棄物資源化事業、持続可能な農業、産業・農業用水処理事業などをタイで展開している企業との連携を希望。
- ・樹脂やポリマー向けのCO2削減技術に関心のある包装関連企業
- ・タイ農業分野での生産性向上のため自動化システムを導入できる企業
タイの農業分野における生産性向上のために、環境に優しい製品や自動化システム、システムインテグレーション等を提供する企業とのマッチングを希望する。
- ・ゴム・プラスチック製造に関する自動化技術分野で協業できる企業
ゴムやプラスチック用の自動化プロセス及び試験機器を共同開発するために、協力企業とのマッチングを希望する。

図 6 Innovation Group のビジネスニーズシート

(7) Somboon Advance Technology (タイ)

既に複数の日系完成車メーカーとも取引実績がある、タイの中堅自動車部品メーカーです。近年では医療機器分野など新規事業への取組を加速しており、パートナー候補となる企業を探しています。

Somboon Advance Technology (SAT)

会社概要

設立年	1962年
代表者	Mr. Teerasak Phongsawad
資本金	4億2,519万THB
従業員数	2,200 名
所在地	タイ、サムットプラカーン県
URL	https://www.satpcl.co.th/en
事業内容	- 主に自動車部品および農業機械部品の製造を行うタイ自動車部品大手企業。 - SATグループ各社は、乗用車、ピックアップトラック、大型トラック、農業機械向けの各種自動車部品を供給。 - 世界中のOEMおよびREMと長期契約に基づき取引を実施。
特徴・強み	- ピックアップトラック〜大型トラック用の車軸シャフトについて、アジアにおける主要サプライヤー3社のうちの1社。 - 倉庫物流や自動車部品などの分野で、他社との合併事業にも積極的に取り組んでいる。 - さらに農業技術、ロボット工学、EVプラットフォーム、バッテリー組立といった新たな分野にも事業領域を拡大している。

製品・サービスの概要

- 主要製品・サービス (鍛造鋼材、鋳造品)
- ・自動車部品: アクスルシャフト、ブレーキディスクなど
- ・農業機械部品: トラクター用部品
- 新規事業分野
- ・収穫量向上と生産性改善のための農業技術・農機具の開発・提供
- ・スマート倉庫向けのロボット技術および自動化システム
- ・3輪電動車のプラットフォーム開発・製造



ビジネスマッチングニーズ

- ・バッテリー/エネルギー貯蔵システム (ESS)、医療デバイス、農業技術、先端材料分野における提携先
- ・タイ国内で自動車・トラクター部品製造拠点設立を希望する企業
タイで新たに事業展開を検討している日系企業に対して協力可能
- ・医療機器分野でのビジネスパートナー
リハビリテーション・モビリティ・ソリューション (電動車椅子、患者搬送機器など) の共同開発またはタイ国内での生産体制構築。
- ・農業技術分野でのビジネスパートナー
UGV肥料散布機の販売拡大、共同開発を行える日本でのパートナー企業 (販売代理店含む) やタイ及び他のASEAN地域への展開に向けたパートナー企業との商談を希望する。
- ・当社の鋼材製造技術、鍛造技術の高度化に協力頂ける企業
- ・その他様々な提携先
ライセンス契約、合併事業、OEM/ODMによる委託生産、日本企業からの技術移転など、当社とのビジネスに興味がある日系企業との商談を希望する。

図 7 Somboon Advance Technology のビジネスニーズシート

Copyright © 2025, Aichi Prefecture.
All rights reserved.

(8) Spike Architectonics (タイ)

医薬品や化粧品などの有効成分を肌の奥まで浸透させることを可能にした「MicroSpike」という溶けないマイクロニードル技術を開発したスタートアップです。同社の技術は既に世界中の病院や企業等で利用されており、今回の事業では日本進出の際のパートナー候補企業とのマッチングを希望しています。

Spike Architectonics




事業概要

会社概要

設立年	2022年
代表者	Ms. Lalitphat Suppraphakorn
資本金	120万THB
従業員数	12 名
所在地	タイ、パトゥムタニ県
URL	https://www.spikearchitectonics.com/

製品・サービスの概要

製品一覧：

- フルフェイス美容マスク
- スポットケア用フェイスマスク
- N-ジョイント：膝関節症の痛みを緩和する、医療用マイクロスパイクパッチ

このほか、健康、美容、医療分野向けに、経皮吸収とマイクロ構造技術を活用した以下のソリューションを提供可能：

- 化粧品OEM/ODMサービス
- 医療機器ODMサービス
- 研究開発サービス






フルフェイス美容マスク スポットケア用フェイスマスク N-ジョイント（関節通緩和パッチ） マイクロスパイク

事業内容

- マイクロスパイク技術を専門とする企業で、独自のマイクロスパイク技術により、医薬品、化粧品、天然由来成分など、あらゆる種類の有効成分の効果を高めることが可能。
- このマイクロスパイク技術を活用し、ヘルスケア、美容、医療分野におけるマイクロ構造応用に関する専門サービスを提供している。

ビジネスマッチングニーズ

- 化粧品業界の販売代理店・代理店**
当社はB to B企業だが、日本国内でエンドユーザーに製品を届けるためのB to Cパートナーを探している。
- 化粧品会社など日本の規制・法規に関する知識と経験を持つ企業**
- 日本市場向けの戦略的パートナー**
日本市場向け製品の共同開発を行える企業を探しているとともに、希望があればタイヘルスケア市場への展開も当社で支援可能。
- 大学や研究機関**
次世代技術開発のための共同研究を希望する。
- マイクロスパイク素材に関する先進技術を有する企業**
マイクロスパイク素材や生体適合性ポリマーなど当社の次世代製品開発を支援いただける企業との連携を希望する。

特徴・強み

- 同社の溶けないマイクロスパイクにより、有効成分を皮膚の奥深くまで痛みなく正確に届けることで、吸収率と生体利用率を高めることが可能。
- 従来の製剤方法を一切変更することなく、生薬エキスをはじめとするほぼあらゆる成分に対応できる。
- 世界6つの主要病院と提携し、世界45の組織・団体で利用されている。

図 8 Spike Architectonics のビジネスニーズシート

(9) ADR Group (インドネシア)

ラジエータ、フィルタなどの自動車部品を製造するインドネシアの自動車部品メーカー。IoT や自動化等による自社の生産性向上を図るため、そうした技術をもつ愛知県企業とのマッチングを希望しています。

ADR Group




事業概要

会社概要

設立年	1973年
代表者	Mr. Rudy Soerjanto
資本金	900万 USD
従業員数	1,000 名
所在地	インドネシア、ブルイット
URL	https://www.adr-group.com/

製品・サービスの概要

ADRグループは、以下の3つの事業部門を有する。

- 自動車**：ラジエーター、フィルタ、ゴムシール、燃料タンクなど
- 農業関連事業**：MDFプラント、アブラヤシ（パーム油）プランテーション、産業用森林プランテーション
- 不動産事業**：ジャカルタ、バリ島、バタム島における直接所有または共同開発・管理の不動産プロジェクト（例） オフィスタワー、コンドミニアム、ショッピングモールなど。




事業内容

- 主にラジエータ、フィルタなどの自動車部品の製造・販売を行う。
- MDF(中密度繊維版)プラント、アブラヤシ（パーム油）プランテーション、産業用森林プランテーションといった農業関連事業や不動産事業も中核事業の一つとして注力している。

ビジネスマッチングニーズ

- IoTシステム、ロボティクス、OEEなどの先端技術をもつ日系企業**
現在、当社の業務（ラジエータ、フィルタ製造）は主に人的労働力に依存しており、生産性を最適化するための最先端技術が不足している。生産性の向上に協力頂ける企業と連携・協業していきたい。
- タイとインドネシアで操業している日系企業**
当社は、新素材、AI、次世代モビリティ、ロボティクス等に関連する革新的技術に重点を置き、インドネシアにおける顧客基盤の拡大と、タイでのさらなるビジネスチャンスの開拓を目指している（サムットサコンに取引先あり）。当社とともに、インドネシア及びタイにて事業を拡大頂ける企業との連携・協業を希望する。
- 大学または研究機関**
製造能力最適化のため、当社事業分野における先端技術とイノベーションの開発に向けた共同研究先として、大学や研究機関とのマッチングを希望する。

特徴・強み

- ADRグループの自動車部門は、6つの製造会社と3つの販売会社を通じて、インドネシアおよび世界各地に自動車部品を供給している。販売ネットワークは125か国以上に及び、グローバルに展開。
- 既に日系OEMを始め多くの 완성車メーカーと取引実績があり、日系企業との親和性も高い。
- 同社のフィルタ製品は、エンジン用途だけでなく、他の産業分野など様々な分野にワンストップサービスで提供している。

図 9 ADR Group のビジネスニーズシート

Copyright © 2025, Aichi Prefecture.
All rights reserved.

(10) Astra Otoparts (インドネシア)

インドネシアを代表するコングロマリットである Astra グループの一員で、二輪及び四輪車用の各種部品を製造しています。インドネシア進出を目指す自動車・ロボット関連企業やヘルスケア・医療機器分野におけるパートナー候補企業とのマッチングを希望しています。

Astra Otoparts

事業概要

QRコード



会社概要

設立年	1976年
代表者	Mr. Abun Gunawan
売上げ	19兆737億300万 IDR
従業員数	30,517 名 (グループ全体)
所在地	インドネシア、ジャカルタ
URL	https://www.astra-otoparts.com/
事業内容	- 二輪及び四輪車用の幅広いスペアパーツの製造と販売を行うインドネシア大手自動車部品メーカー。最大の市場セグメントは OEM と REM。 55の子会社を持ち、規模としてはインドネシア最大級。
特徴・強み	- ジャワ島・バリ島外に52の主要ディーラー、24の営業所、そしてインドネシア全土に12,000以上の販売店を擁する強力な国内ネットワークを有しており、国内では圧倒的な存在感をもつ。 - 現在、二輪車・四輪車用バッテリーとスペアパーツを世界40カ国以上に輸出しており、広いグローバルネットワークを有しているとともに、既に日系企業とも豊富な取引経験をもつ。

製品・サービスの概要

- 二輪車及び四輪車向けの各種部品 (エンジン、ボディ & シャーシ、電子部品、ドライブトレイン、トランスミッション) を製造。
- バッテリー、ショックアブソーバー、フィルター、タイヤ、チューブ、オートバイ用チェーン、その他の交換部品を含む自動車アフターマーケット製品の設計、製造、販売も実施。
- また、自動車部品の国内外への販売を行う商社機能ももつ。


4輪形成ゴム部品


自動車用エアコンのコンプレッサー


ホイール・アッシー、ステアリング


バイク用バッテリー


スパークプラグ


金型設計

ビジネスマッチングニーズ

- インドネシア進出を目指す愛知県の自動車関連企業**
現在、EV部品の拡充を目指しているため、インドネシアにおける日系自動車部品メーカーとの更なる連携を検討しているとともに、サプライヤーとして内燃機関の生産を支援したいと考えている。
- ヘルスケア・医療機器分野におけるビジネスパートナー**
当社はヘルスケア・医療機器分野への事業多角化を目指しており、インドネシアを製造拠点として活用したい日系企業とのマッチングを希望する。既に親会社が病院に投資しており、安定した市場を提供可能。
- ICEに最適なコイルスプリングを供給できるサプライヤー**
内燃機関に最適なコイルスプリングを専門に製造するコイルスプリングメーカーとのマッチングを希望する。
- インドネシアでのロボット製造を目指すロボティクス企業**
インドネシアには現時点でロボット製造企業はないため、当社と組んで新たにインドネシアでのロボット製造を進めたいロボティクス企業とのマッチングを希望する。

図 10 Astra Otoparts のビジネスニーズシート

(11) Dharma Polimetal Tbk (インドネシア)

インドネシアの大手自動車部品サプライヤーである Dharma グループの一員で、自動車及びエネルギー関連部品の製造を行っています。インドネシアで EV 関連事業の展開を考えている愛知県企業とのマッチングを希望しています。

Dharma Polimetal Tbk

事業概要

QRコード



会社概要

設立年	1989年
代表者	Mr. Alexander Septian
資本金	約3億3,000万USD
従業員数	約6,000名
所在地	インドネシア、チカラン
URL	https://dharmagroup.co.id
事業内容	- 自動車及び再生可能エネルギー関連部品の製造事業を展開するインドネシア大手企業。 - 世界クラスのメーカー基準に準拠した革新的で高品質なスペアパーツ及びコンポーネント製品を提供することで、統合型自動車サプライチェーンの一翼を担っている。
特徴・強み	8つの子会社を擁するダルマグループは、長年インドネシア自動車部品製造市場で確固たるポジションを確立している。 - 世界的に有名なブランドをはじめとする多くの顧客と長期的な関係を維持している。 - OEMおよびアフターマーケットの自動車分野様々なニーズに対して、製品を開発可能である。

製品・サービスの概要

主要グループ会社の製品は以下の通り：

- PTダルマ・ポリメタルTbk**：フレームボディ、マフラー、ファスナー、バッテリーケース等。
- PTダルマ・エレクトロニクス**：ワイヤーハーネス、電子部品、充電ステーション等。
- PTダルマ・ポリプラス**：内装、外装、カバー、ヘルム、シート、プラスチック部品。
- PTダルマ・コントロールケーブル**：インドネシア：自動車用コントロールケーブル、パーキングブレーキ、バッテリーバック、エネルギー貯蔵システム、補助リチウムバッテリー12V等。
- その他子会社。


マフラー


ロック・アッシー・フード


ダイヤモンド・カット・ツール


フレーム・ボディ


バッテリー・バック


シートフレーム部品

ビジネスマッチングニーズ

- インドネシア市場に関心がある自動車関連企業**
インドネシア市場への進出を目指す愛知県企業を支援可能であり、インドネシアへの輸出支援も行える。特に、ICE、EV関連コンポーネント部品や、充電ステーション、バッテリー、リサイクル分野に関心がある。逆に当社製品の日本への輸出に協力頂ける企業とのマッチングも希望する。
- 再生可能エネルギー及び循環型経済関連企業**
EV関連エコシステム、特に部品、バッテリーステーションや関連インフラをインドネシアで展開したい企業とのマッチングを希望する。
- インドネシアにおける日本企業との共同開発・技術提携**
特に再生可能エネルギー関連部品の分野において、共同開発先を探している。

図 11 Dharma Polimetal Tbk のビジネスニーズシート

Copyright © 2025, Aichi Prefecture.
All rights reserved.

(12) Eran Plastindo Utama (インドネシア)

二輪車用部品のプラスチック射出成型を専門とするインドネシアの中小サプライヤです。今後の輸出拡大を視野に入れた愛知県企業との取引拡大や、共同開発を希望しています。

PT. Eran Plastindo Utama

事業概要




製品・サービスの概要

- 二輪車用部品：シートボトムプレート、ホルダーミラー ASSY、エアクリナーASSY など
- 自動車部品：アシストグリップブラケット、サイドブレーキグリップ、サイドブレーキホールカバー など
- 家庭用電化製品：炊飯器用スイッチカバー、扇風機用スタンドベース・スイッチボックス など



会社概要

設立年	2020年
代表者	Mr. Edi Wiranto
資本金	600万USD
従業員数	264 名
所在地	インドネシア、西ジャワ州・ボゴール
URL	-

事業内容

- プラスチック射出成型を専門とするインドネシアローカル製造業。
- 主力事業であるプラスチック射出成型に加え、自動化・ロボットシステム、鏡面仕上げ組立ライン、測定機器、金型メンテナンス、レーザー溶接などのサービスも提供している。

特徴・強み

- 当社は、自動車業界向けのプラスチック部品を製造・供給するだけでなく、家庭用電化製品など、非自動車関連分野にも製品を供給している。
- インドネシア市場において高い水準のQCDを維持し、競争力のある価格で高品質な製品を提供しており、日系完成車メーカーとも取引実績がある。

ビジネスマッチングニーズ

- 日本、タイ、インドネシアにおいて当社とお取引いただける日系企業**
これまで国内市場での事業展開で成功を収めてきた実績と経験を有しており、今後は輸出事業の拡大も積極的に模索していきたいと考えているとともに、インドネシア国内での日系企業との取引も拡大していきたい。
- 様々な分野における研究開発パートナー**
これまで培ってきた試作品開発の経験と高いQCDを活かし、今後は多様な分野での日系企業との共同開発を推進したいと考えている。そのため、当社とインドネシアで共同開発を行う可能性がある日系企業と議論したい。

図 12 PT. Eran Plastindo Utama のビジネスニーズシート

(13) Etek (ベトナム)

ベトナムでは珍しい、自動化設備の設計・製造・据付までを提供する総合自動化ソリューションプロバイダです。ベトナムにおいて、当社のソリューションを導入したい愛知県企業等とのマッチングを希望しています。

Etek

事業概要




製品・サービスの概要

- ファクトリーオートメーションソリューション：**組立、梱包、製造、ロボットアプリケーション、補助装置、スマートファクトリー、インフラロジスティクス
- 教育訓練機器：**大学、短期大学、専門学校向けの訓練機器、および自動化トレーニングの提供
- ライフ/ユーティリティオートメーションソリューション：**自動駐車ソリューション、EV充電器、自動販売機、昇降機




会社概要

設立年	2006年
代表者	Mr. Nguyen Trong Thuong (Alex)
資本金	300万 USD
従業員数	265 名 (内、エンジニア140名)
所在地	ベトナム、ハノイ
URL	https://etek.com.vn/en/

事業内容

- 生産工程の自動化ソリューションをベトナムで提供。
- 工場や産業プロセスの自動化により、ベトナムでの生産現場において、生産性と制御の信頼性を向上させることが可能。
- 当社は、ベトナムの生産現場で生産性の向上と競争優位性獲得を目指す企業のため、全自動化ソリューションを提供できる。

特徴・強み

- 当社の自動化ソリューションパッケージは、ベトナムにおける最新の技術と最高の信頼性を提供し、顧客の競争優位性を確保できる。
- 当社のエンジニアリングスタッフは、機械、電子、ソフトウェアの分野における優れた統合スキルを備えており、ベトナム国内でもトップレベルである。
- また、日本語対応可能なスタッフも擁していることから、言語の壁もない。また、今後日本市場への進出を目指している。

ビジネスマッチングニーズ

- 日本市場参入に向けた日系企業との提携**
当社のサービスを日本でも展開したいと考えているため、日本進出に際して支援頂けるパートナー企業を探している。
- ベトナムにおける日本企業との協業**
当社が保有する熟練した人材と設備を活用していただける在ベトナムの日系企業や日系投資家とのマッチングを希望する。
- 先進的な技術とノウハウを持つ企業**
当社の事業分野（自動化ソリューション）において、先進的な技術・ノウハウを持つ日系企業との連携・協業を希望する。
- M&Aの機会**
日系企業とのベトナムでのJVの設立や日系企業からの投資など、ベトナム及びグローバルでの事業拡大を共に進める日系企業とのマッチングを希望する。

図 13 Etek のビジネスニーズシート

Copyright © 2025, Aichi Prefecture.
All rights reserved.

これら 13 社の企業との個別のビジネスマッチング(オンライン面談)にご関心がある場合は、愛知県バンコク産業情報センター(aichi-bkk@jetso.go.jp)まで以下の内容を直接ご連絡ください。なお、面談は原則英語での実施となりますが、現地語での面談も可能です。皆様のお申込みをお待ちしております。

【ご連絡時にご記載いただきたい事項】

- ・御社名及びご担当者名
- ・ご担当者の緊急連絡先
- ・ビジネスマッチングを希望する企業名(複数可)
- ・ビジネスマッチングを希望する企業のどのニーズに対して、どのような提案をしたいか(複数可)
- ・希望する面談言語(英語又は現地語(タイ語、インドネシア語、ベトナム語))

3 おわりに

愛知県は、中国(江蘇省)、インドネシア(ジャカルタ)、ベトナム(ハノイ)、インド(ニューデリー)にて、これらの国へ進出している愛知県企業の支援のためにサポートデスクを設置しています。このうち、インドネシアとベトナムのサポートデスク主催で、現地に進出している愛知県企業様を対象とした意見交換会が、10月下旬にそれぞれの国で開催されました(図 14,15)。私も開催支援のために現地へ伺い、併せて現地政府や現地に進出している愛知県企業様を訪問し、様々なお話を伺ってまいりました。



図 14 愛知県ベトナムサポートデスク意見交換会での集合写真(左:ハノイ会場 右:ホーチミン会場)
(会場スタッフ撮影)



図 15 愛知県インドネシアサポートデスク意見交換会の様子(筆者撮影)

この意見交換会は、現地に進出している愛知県企業様への情報提供及び企業様同士のネットワーキングのために開催しているもので、毎回多くの愛知県企業様にご参加いただいています。本レポートでご紹介したビジネスマッチング事業の対象範囲をインドネシアとベトナムへ広げたのも、実は昨年度の意見交換会にて参加企業様から御要望があったためで、今後もこのようなお声を直接事業へ反映できるよう努めていきたいと考えています。

また、今回インドネシア・ベトナムの両政府へも訪問しましたが、両国とも日本からの投資や日系企業進出に非常に前向きであったのが印象的でした。近年の両国に対する直接投資は中国勢が日本を上回っている年が続いていますが、それでも日系企業に対する信頼感というものは、先にご紹介したローカル企業と同じくまだまだ高いものがあると感じました。

当センターといたしましても、愛知県企業様へのサポートを通じて両国の経済交流の推進の一助となるような活動を継続していきたいと思いますので、何かご意見・ご要望がございましたらお気軽に当センターまでお問合せください。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

バンコク産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。